

32. ライフル射撃競技実施要項

1 主 催 大分県高等学校体育連盟

2 期 日 令和 2 年 11 月 22 日 (日) 10 : 15 ~ 開会式
 11 : 30 ~ 競技開始
 11 月 23 日 (月) 10 : 00 ~ 競技開始
 15 : 50 ~ 閉会式

第1日目【11月22日(日)】

- 1) 8:30 ~ 10:00 公式練習(当日競技のある選手のみ各30分)
- 2) 10:15 ~ 10:45 開会式
- 3) 11:30 ~ 14:55 A R 男子、B R 女子

第2日目【11月23日(月)】

- 4) 8:30 ~ 9:30 公式練習(当日競技のある選手のみ各30分)
- 5) 10:00 ~ 13:10 A R 女子、B R 男子、B P 男女
- 6) 13:30 ~ BR男子個人戦ファイナル
- 7) 14:50 ~ BR女子個人戦ファイナル

※ファイナルは参加者数等の状況によっては中止となる場合があります。

その場合、閉会式の時間が繰り上がります。

- 8) 15:50 ~ 閉会式

3 場 所 大分県立庄内屋内競技場

4 競技規則 各種目とも 『ライフル射撃競技規則集(第2巻)最新版』 による。

- 5 競技種目
- (1) 10mエア・ライフル立射60発競技(男子)
 - (2) 10mエア・ライフル立射60発競技(女子)
 - (3) ビーム・ライフル立射60発競技(男子)
 - (4) ビーム・ライフル立射60発競技(女子)
 - (5) ビーム・ピストル(デジタル)立射60発競技(男子)
 - (6) ビーム・ピストル(デジタル)立射60発競技(女子)

6 競技方法 (1) 団体戦、個人戦、個人戦ファイナル競技の実施の有無は以下の通り。

	団体戦	個人戦	個人戦ファイナル競技
エアライフル競技	実施	実施	実施予定
ビームライフル競技	実施	実施	実施予定
ビームピストル競技		実施	

- (2) 団体戦は本戦得点合計で順位を決定する。
- (3) エアライフル・ビームピストル種目は本戦得点で、ビームライフル種目はファイナル得点で順位を決定す
ただし、エアライフル・ビームライフル種目の全国大会個人戦出場者は、上位者とする。
- (4) エアライフル種目とビームライフル種目に同時にエントリーはできない。

総合優勝校の決定方法

種目	団体戦	個人戦
エアライフル競技	1位:12P、2位:6P	1位 5P ~ 5位 1P 各1Pきざみ
ビームライフル競技	1位:12P、2位:6P	1位 8P ~ 8位 1P 各1Pきざみ
ビームピストル競技		1位 5P ~ 5位 1P 各1Pきざみ

それぞれ男女ごとに、上記のようにポイントを与え、合計ポイントの高い高校が総合優勝とする。
同点の場合は、次の順で上位校を決定する。

- ① 団体戦の合計ポイント数
- ② 個人入賞者数（全種目）
- ③ 個人順位合計のポイント（少ない方が上位）
- ④ 団体選手の個人戦獲得ポイント合計（多い方が上位）

- 7 参加資格 「令和2年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 8 参加制限 団体戦は、選手3名・補欠1名。申込用紙の「団体戦」欄に「選手」「補欠」と明記のこと。
- 9 参加申込 No.32 様式で男女は別紙に作成し、各校ごとに学校の承認を得て郵送願する。なお、承認を得た申込電子データは、期限内に下記あてメールでも送信する。
宛 先：goubara-akihiro@oen.ed.jp 合原 彰宏（大分県立由布高等学校）
提出期限： 令和2年11月13日(金)
*大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。
*参加する学校は、選手・監督の体調記録表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- 10 連絡事項
 - (1) 銃器・弾薬は各自携行し、運搬・携帯・保管について特に留意すること。
 - (2) 鉄砲所持許可書または年少撃資格認定書、日ラ会員証、射手手帳を携行すること。
 - (3) 銃には、有効な検定シールを貼っておくこと。
 - (4) 年少者射撃資格銃は、銃の射撃指導員が必ず同行すること。
 - (5) ゼッケンはB5横判（学校名、氏名記入）を各自背中につけること。
 - (6) 危害予防については各自が十分に留意すること。
- 11 感染症等の対策
 - (1) 感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。
 - (2) 競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。

感染症等の対策に関する留意事項について

ライフル射撃競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる。こと。（当日の体調急変を含む）
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用に当たっては短時間の利用とし一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなど身体的接触をしない。近距離での会話や発声をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること。
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

2 ライフル射撃競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【大会本部】

- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけん消毒液を設置する。
- ・会場内の人数を減らすために、当日の競技に参加する者以外の選手は来場できない。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・試合開始・終了時の挨拶は握手をせずに礼のみを行う。
- ・トイレなど競技会場以外の使用場所も常時換気を行う。
- ・味方同士でのハイタッチなど、接触を伴うコミュニケーションは禁止する。
- ・競技結果は、成績表をスマートフォンで撮影して離れた場所で見ると、密集にならない工夫を各自で行い、掲示場所に長時間待機しない。

【 選手・役員・保護者等 】

《密閉》

- ・競技会場は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・トイレなど競技会場以外の使用場所も常時換気を行うので協力すること。

《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2 m保つこと。
- ・味方同士でのハイタッチなど、接触を伴うコミュニケーションは避けること。

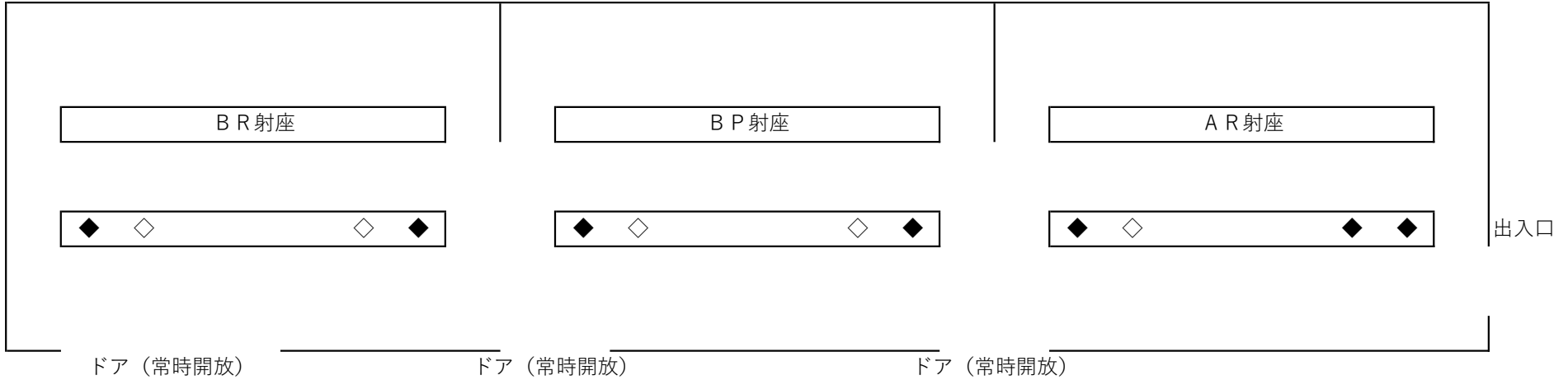
《密集》

- ・会場内においては、できるだけ2 mのソーシャルディスタンスを保つこと。
- ・会場内の人数を減らすために、当日の競技に参加する者以外の選手は来場しない。
- ・競技結果の掲示場所に長時間待機しない。成績表をスマートフォンで撮影して離れた場所で見ると、密集にならない工夫を各自で行うこと。

令和2年度大分県高等学校新人大会ライフル射撃競技
会場除菌用品配置図

- ◆ = 手指消毒薬
- ◇ = 機材消毒薬
- = 手洗い石鹸

A棟（競技会場）



B棟（トイレ・機材出し入れ時のみ使用）

玄関（締切）

